

<b>1. 評価対象事務事業</b>		シート作成日	平成25年7月17日
事業名	食育推進事業	担当課・係名	スポーツ健康課 健康増進係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	10
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成20年度

**2. 事業の概要**

目的 (何のために)	町民一人ひとりが食に対する関心を持ち、心身ともに健全な食生活を送るための知識を身につけるために食育の推進を図る				
対象 (誰を・何を)	町民（乳幼児から高齢者まで）				
内容	食育推進計画に沿って調理実習を含んだ教室の開催、食に関する講座の開催、食生活改善推進員の養成及び育成等 食育推進計画の改訂版の作成及び発行				
根拠法令・条例等	食育基本法、神奈川県食育推進計画、大磯町食育推進計画				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	298	269	591
	国庫支出金	千円	202		
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円		89	104
	一般財源	千円	96	180	487
	職員人数 (概算職員数)	人			0.91
	人件費計 (b)	千円			4,434
総事業費 (a)+(b)	千円	298	269	5,025	
事業費内訳 H 25 年度	報償費：44千円    需用費：465千円    役務費：12千円    委託料：50千円				

**3. 指標値の推移**

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 前年度講座参加者数	人	348	386	347
	② 前年度講座開催数	回	32	33	33
活動指標 (活動量)	① 現年度講座参加者数	人	386	347	350
	② 現年度講座開催数	回	33	33	33
成果指標 (達成度等)	① 前年度との比較 (参加者数)	%	111	90	101
	② 前年度との比較 (開催数)	%	103	100	100

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	食育基本法において、地方公共団体は食育の推進に関し、国との連携を図りつつ、自主的な施策を策定し、及び実施する責務を有すると規定されている。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	平成21年度からスタートした「大磯町食育推進計画」に則り、各種事業、教室を開催している。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	食育推進委員会を開催する中で、毎年度、計画の進行管理を行っている。なお、平成26年度からスタートする「第2次大磯町食育推進計画」、は第1次計画の結果を踏まえた計画となる。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	調理教室では、食材料費については、参加者の自己負担を求めている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	事業趣旨を伝えたくて、一部の事業を委託することにより、人件費等の削減ができています。
担当課による評価		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
		<b>評価理由</b> 食育についての関心は高まってきているので、町民の主体的な活動についても積極的に支援する仕組みづくりについても検討が始まっている。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
平成25年度で第1次の食育推進計画が終了するため、計画の進捗状況を確認した上で課題を整理して、第2次計画を策定した上で、計画に沿って各種活動や事業を開催する。
② 平成26年度に着手する事項
家族で食事をするファミリーコミュニケーションの日の周知啓発のため、ファミリークッキングを開催する。
③ その他（課題、調整事項等）
小中学生から応募のあった「O i s o レシピ」については、現在、広報おいそで紹介している。小学生への食育推進の観点からも”旬”の食材や地産地消も意識したレシピとなっているため、学校栄養教諭を交え学校給食のメニューへの採用について検討を行う。

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

第2次大磯町食育推進計画を改定し、計画に沿って食育を推進するとともに、磯食だより第3号は、町広報紙の特集として発行する。 「共食の大切さ」をPRするために、「休日に親子で参加するクッキング教室」を新たに開催する。 O i s o レシピの活用方法について、学校給食のメニューとして採用してもらえよう関係機関と調整する。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------